



東一小だより

12月号

令和3年11月30日発行

大田区立東調布第一小学校

学校長 鳥居 洋子

<https://www.ota-school.ed.jp/higashichoufudai1-es/guide/index.html>

自己肯定感をはぐくむために

校長 鳥居 洋子

自分は大切な存在、自分はありのままでいいというように、自分の価値や存在意義を前向きに受け止める気持ちは、子供たちが生きていくうえで大切なことです。自己肯定感とは、自分の存在を認め、自分は自分のままでいいと思うことができる心の状態のことです。自己肯定感が高いと、何事にも前向きに取り組み、周りの人の気持ちを大切にすることができますと言われてしています。

令和3年度の全国学力・学習状況調査の質問紙調査では、「自分にはよいところがあると思いますか。」との問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に答えた全国の小学校6年児童の割合は77%、「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と答えた割合は23%でした。約4分の1の児童が自分のよさを認められないという現状がみられました。

自尊感情や自己肯定感を高めるためには、周りの大人が子供たちと向き合い、見守り、認める姿勢や言葉掛けが大切です。あなたがいてくれて本当に嬉しいという気持ちを周りからたくさん伝えられた子は、自分は大切な存在なのだという自己肯定感をしっかりともっているといえます。

学校では、成功体験や達成感を味わうことができるような学びの環境づくりに努めています。勉強が分かるようになった、行事、スポーツなどで頑張ったという達成感を感じたとき、子供たちの表情は輝いています。そのような場面で自分のよさを自覚できるように、褒めたり認めたりすることが大切です。このような言葉掛けや認められた経験が、次も頑張ろうというやる気や意欲につながっていきます。

自尊感情、自己肯定感とは、子供たちがやる気を出し、これから立ち向かう困難なことを乗り越えていくためのエネルギーになります。そのためには、親の愛情や励まし、教師や友達から認められたり励まされたりすることが大切です。子供たち一人一人に目をかけて、頑張りを認め、励ましていきたいと思えます。

ガイドライン改定について

大田区立学校における新型コロナウイルス感染症ガイドラインが、11月22日に改定(Ver. 6)されました。ワクチン接種、マスクの着用、学校において感染者等が発生した場合の対応などが改定されています。大田区や本校ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。今週末の東一ステージも、本ガイドラインの学校行事の実施条件を踏まえて練習し、実施いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

「東一ステージ」

ステージ担当 森山 僚子

12月3日(金)、4日(土)に東一ステージを開催します。今年は全学年音楽の発表に向けての練習に取り組んでいます。

1年生は、小学校初めての合唱・合奏を一生懸命頑張ります。2年生は、国語で学習した「スイミー」を歌で表現します。3年生は、頑張って練習したリコーダーの音色をきれいに響かせます。4年生は、一人一人の「いのち」の大切さを歌で表現します。5年生は、リズム感溢れる合奏で聴く人を楽しませます。五組は、音と心がぴったり合うように練習した成果を披露します。6年生は、クラシックの名曲「木星」にチャレンジし、息を合わせて合奏します。当日、保護者の皆様には、子供たちの頑張りに温かい拍手を送っていただきますようお願いいたします。

なお、保護者鑑賞日は、感染症対策を実施するにあたり、各家庭一名の鑑賞をお願いしております。ご協力いただかなくてはならないことが多くありますので、「東一ステージのお知らせ」をご確認ください。

人も物も大切にしよう

生活指導部 佐藤 奈緒美

「物持ちがいい人」という言葉があります。同じ物をずっと使い続けている人に使うことができますが、ボロボロの状態の物を使い続けていたり、どこかにしまい続けていたりすることとは違います。「物持ちがいい」とは、手入れをしながら、良い状態のままを使い続けることです。何でも簡単に手に入る現代では、こわれてすぐに買い換えたり、雑に扱ったりする人も増えています。自分の持ち物への心遣いは、無意識のうちに、公共物に対しても表れてきます。例えば公共のトイレ、人に借りた物、掃除道具などみんなでする物への心遣いです。

「物を大切に扱ってくれる人は、人の心も大切に扱ってくれる」という言葉があります。ある時、教室で掃除道具をきれいに整頓してくれた子がいました。みんなが感謝をして、自然と拍手がおきました。物を借りた子が、「ありがとうございます。」とお礼を言って丁寧に返しました。貸した子も「どういたしまして。」と笑顔で応えていました。これが反対の態度であったなら、みんな温かい気持ちにはなりません。

物の扱い方についても子供たちと一緒に考えていきたいと思えます。

人権週間

人権担当 田中 晴菜

1948年12月10日の国際連合総会において、世界人権宣言が採択され、この日を「人権デー」と決めました。日本では、12月4日～10日までの一週間を「人権週間」と定めています。

学校生活の中で、友達や先生の関わりを通じて、相手と自分の違いに気づき、容姿、考え方、感じ方が違う友達と過ごす中で、「個性」に気づき互いに尊重し、認め合いながら生活することを大切にしています。それに合わせて、本校では、毎年校内人権作品展を行っています。2・3年生はポスター、4・6年生は書写、5年生は標語を各学年で人権について考えながら、作品作りを進めました。保護者会でご来校の際は是非ご覧ください。

ご家庭でも「人としての権利」について話をしてみてください。自分の好きなところや友達の素敵なおところ考えたり話をしたりするのも良いですね。

情報モラルを学んで

生活指導部 松本 真廣

私達にとってインターネットや携帯・スマホは日常生活に欠かせない便利な道具となっています。その反面、ネット上には違法・有害情報があふれ、子供たちが犯罪やトラブルに巻き込まれるなどの問題も起きています。また、携帯やゲーム機の使用が生活習慣の乱れや家庭でのコミュニケーション不足につながるなど、インターネットやゲームに関わるトラブルが後を絶ちません。このような状況を心配している保護者の方は多いのではないのでしょうか。11月の土曜授業日にセーフティ教室を実施しました。今回も情報モラルについて教育ネットの方を講師にお話を聞きました。

1～3年生は、ネットを通じた文字コミュニケーションや怪しいメールが来た時の対応・ルールを守る大切さについて学びました。4～6年生は、SNSへの投稿やパスワードの管理などについて学びました。一人一台のタブレットを今後も活用していく中でSNSやネットトラブル・ネットによるいじめ等に巻き込まれず未然に防ぐ必要があります。そのために「SNS東調布第一小学校ルール」を基にご家庭でも「約束事やルール」を見直し考えるきっかけになればと思います。

12月の行事予定

1	水	避難訓練
2	木	人権尊重週間・作品展始 5時間授業
3	金	読書活動 東一ステージ（児童鑑賞日） 5時間授業
4	土	東一ステージ（保護者鑑賞日） 月曜時程 給食あり 5時間授業
5	日	
6	月	振替休業日
7	火	委員会活動 中学校説明会（6年）
8	水	
9	木	学習タイム 保護者会（1年、4年）
10	金	読書活動 保護者会（3年、6年、五組） 代表委員会 人権作品展終
11	土	
12	日	
13	月	放送朝会 クラブ活動
14	火	安全指導 保護者会（2年、5年）
15	水	茶道体験（6年）
16	木	児童集会
17	金	大掃除週間始
18	土	小学生駅伝大会
19	日	
20	月	放送朝会 クラブ活動
21	火	学習活動
22	水	
23	木	学習タイム 給食終 大掃除週間終
24	金	終業式 水曜時程 4時間授業
25	土	冬季休業日始
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

【お知らせ】

本校 藤 登志彦 用務主事においては、病気のため、令和3年11月23日にお亡くなりになりました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。なお、児童へは29日（月）の放送朝会にて報告しました。